

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

ヨコスカ Discovery

ディスカバリー

第39回 大津から走水へ 新春の土地神様詣で

平安時代以前の「古東海道」や江戸時代中期以降の「浦賀道」などに点在する、石仏、小さな神社や大きな神社、社殿を持たない古い神社などを巡ります。天気が良ければ、富士山も眺めることが出来ます。(距離約9㌾、所要時間約3時間)

①風神地蔵

②愛染稲荷：文化14年(1817)この辺りに住んでいた七兵衛という村人が、江戸加賀町の愛染寺から「正一位稲荷大明神」を安鎮する証書を受けて建立した、と言われている。

③砂坂地蔵と白須川地蔵尊

④原稲荷

⑤宿守稲荷



〈愛染稲荷〉

⑥大津諏訪神社：創建は天長元年(824)、信州上諏訪神社を勧請した大津の総鎮守とされている。関東大震災で大津各地の神社が被害を受けた事と、政府による一村一社の行政指導のため、大正14年(1925)村内の10の神社が諏訪神社に合祀された。この時、旧白山神社と、旧矢之津神社の地震で残った建物部分を諏訪神社境内へ移築合体させたので、社殿の前後の建築様式が違っている。



〈大津諏訪神社〉



〈破崎緑地からの眺め〉



⑦安房口神社：吉井の鎮守で社殿はなく、ご神体として大きな自然石が鎮座している。この石は房州の安房神社から飛来して来たという伝説があり、石にある直径約30㌾の穴は安房の方を向いている。豊作や安産の神として信仰され、北条政子が懐妊のとき、安産祈願をした記録が残っている。



〈伊勢町観音〉

⑧馬頭観音(蹄の井)

⑨玉姫稲荷

⑩伊勢町観音：高さ61㌾の寄木造り、玉眼入りで漆箔が施され、宝冠を戴いた立姿。宋風の影響を強く受けた江戸初期の鎌倉仏師による作ではないかといわれる。別名を「ぼっくり観音」といい、熱心な信仰者はポックリ死ねるといふ。(普段は非公開)

⑪破崎緑地：大津と馬堀の海が眼前に広がり、横浜のランドマークタワーや、運が良ければ富士山を眺めることができる。

⑫走水神社：祭神は日本武尊(やまとたけるのみこと)と弟橘媛命(おとたちばなひめのみこと)。創建は不明であるが、村人が尊から下賜された冠を石櫃に納めてその上に社殿を建立し尊を祀ったのが始りとされる。



〈走水神社〉